

# 情報セキュリティ白書 10大脅威

## 2018年(個人)

- 1位「インターネットバンキングやクレジットカード情報の不正利用」**  
～被害は継続して発生、仮想通貨に関する被害も～
  - 犯罪グループ・犯罪者 → 個人・組織(インターネットバンキング・クレジットカード利用者)
  - <攻撃手口>: ウイルス感染、フィッシング詐欺
  - <対策/対応>: 被害の予防(認証方式の確認)、被害の早期検知、被害を受けた後の対応
- 2位「ランサムウェアを使った詐欺・恐喝」**  
～ランサムウェアの感染経路拡大～
  - 犯罪グループ・犯罪者 → 個人(PC、スマートフォン利用者)
  - <攻撃手口>: メールの添付ファイルから感染、ウェブサイトから感染(脆弱性を悪用)、OSの脆弱性を悪用、スマートフォンアプリのインストール
  - <対策/対応>: 被害の予防(被害に備えた対策含む)、被害を受けた後の対応
- 3位「ネット上の誹謗・中傷」**  
～匿名性を悪用した心無い投稿が横行、情報モラルを身に着けよう～
  - 情報モラル・リテラシーが低い人、悪意・違法性の意識を持っている人  
→ 個人、組織(教育機関、公共機関、企業)
  - <事例または傾向>: 個人を中傷するブログを投稿、掲示板やウェブサイト等を使った脅迫行為、教諭が生徒を装い中傷、容疑者の父親というデマ拡散により、誹謗中傷、業務妨害
  - <対策/対応>: 情報モラルや情報リテラシーの向上、法令順守の意識の向上、情報の信頼性の確認
- 4位「スマートフォンやスマートフォンアプリを狙った攻撃」**  
～依然として公式アプリストアにも不正アプリが存在、ウイルス感染に注意～
  - 犯罪グループ・犯罪者 → 個人(スマートフォン利用者)
  - <攻撃手口>: 公式マーケットに不正アプリを紛れ込ませる、人気アプリに偽装
  - <対策/対応>: 被害の予防(被害に備えた対策含む) → アプリは公式マーケットから入手、アクセス権限の確認、OS・アプリの更新、セキュリティソフトの導入、セキュリティ設定の実施、利用しないアプリのアンインストール、バックアップの取得
- 5位「ウェブサービスへの不正ログイン」**  
～パスワードの使い回しに注意～
  - 犯罪グループ、犯罪者(ストーカー等) → 組織(Web提供者)、個人(Webサービス利用者)
  - <攻撃手口>: パスワードリスト攻撃、パスワード推測攻撃
  - <対策/対応>: 情報リテラシーの向上(パスワード管理)、被害の予防(パスワード管理ソフト、多要素認証の利用)
- 6位「ウェブサービスからの個人情報の窃取」**  
～Webサービスの利用者は登録する個人情報を必要最小限に～
  - 犯罪グループ → 組織(Web提供者)、個人(Webサービス利用者)
  - <攻撃手口>: ウェブサービスの脆弱性を悪用
  - <対策/対応>: 情報リテラシーの向上(必要最小限の情報登録)
- 7位「情報モラルの欠如に伴う犯罪の低年齢化」**  
～未来ある若者に情報モラル教育を～
  - 情報モラル・リテラシーの低い若者、悪意ある若者 → 個人、組織(教育機関、ゲーム運営会社等)
  - <攻撃手口>: 攻撃ツールの普及(悪用ツールがインターネット上に公開)、マルウェアジェネレーター
  - <対策/対応>: 情報モラル・リテラシーの向上(家庭 → 学校 → 社会教育)
- 8位「ワンクリック請求等の不当請求」**  
～複数回のクリックにより不当請求されるケースも～
  - 犯罪グループ → 個人(Webサービス利用者)
  - <攻撃手口>: 悪意あるウェブサイトの閲覧、メールに記載されたリンクのクリック、不正プログラム・アプリをインストールさせる、電話をかけるように誘導、スマートフォン機能の悪用
  - <対策/対応>: 不当請求には応じない、受信したメール内容の確認、アクセスするウェブサイトの確認、SNS(Twitter、Facebook等)のメッセージのリンクは不用意にクリックしない、アプリのアクセス権限の確認、事例・手口の情報収集と学習
- 9位「IoT機器の不適切な管理」**  
～普及するIoT製品、利用の前にセキュリティ対策を～
  - 犯罪グループ → 組織(企業、IoT機器利用者)、個人(IoT機器利用者)
  - <攻撃手口>: 初期設定のIoT機器にウイルス感染、脆弱性を悪用した攻撃、感染を拡大させる  
<乗っ取られた後の攻撃や悪用の例> 覗き見や盗撮、DDoS攻撃等の踏み台
  - <対策/対応>: 組織(システム管理者)、個人(利用者) → 情報リテラシーの向上(説明書を熟読)、被害の予防(パスワード管理、アクセス制限)
- 10位「偽警告によるインターネット詐欺」**  
～その警告メッセージ、信じて大丈夫～
  - 犯罪グループ → 個人(インターネットサービス利用者)
  - <攻撃手口>: 偽警告を表示し、不安を煽り、誘導する ・ 音声を流して、さらに不安を煽る ・ サポート窓口を装い、電話をかけさせる ・ 偽セキュリティソフトを購入させる ・ アプリやソフトウェアをインストールさせる
  - <対策/対応>: 事例・手口の情報収集、偽警告が表示されても安易に従わない、偽警告が表示されたらブラウザを終了、遠隔操作ソフトをアンインストール、サポート契約の解消

Source → <https://www.ipa.go.jp/security/vuln/10threats2018.html>

- 2017年
- 2016年
- 2015年
- 2014年度
- 2013年度
- 2012年度